

2007年度 事業報告書

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

1 事業の成果

事業概要

第5回助成先(2005年度募集分)の調査研究・研修の成果発表会を実施した。
 第6回助成先(2006年度募集分)については、その調査研究・研修活動の支援を行った。
 引き続き、第7回助成の公募・選考を行い、国内の助成枠として22件、885万円、アジア枠として1件、65万円、合計23件、950万円の助成を決定した。

また、2006年度から委託研究として取り組んできた「地震と原発」研究を継続し、2007年7月15日に中間報告会を開催した。その後、7月16日の新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原発の被害を受け、8月に発足した「柏崎刈羽・科学者の会」の活動を支援してきたいが、2008年度には、委託研究(期間1年間、金額100万円)として取り上げることにした。これらの活動を「高木基金だより」とメールマガジン、ホームページなどを通じて報告するとともに、市民科学のあり方等についての広報・普及活動を行ってきた。

事業経過

2007年 5月26日 2007年度総会開催
 2007年 6月 7日 基金だより No.15 発行 <約2,500通>
 2007年 6月16日 第5回助成の成果発表会を開催 <文京シビックセンター 多目的ホールにて、参加者60名>
 2007年 7月15日 「地震と原発」研究 中間報告会を開催 <港区勤労福祉会館にて、参加者25名>
 2007年 8月 7日 7/16の新潟県中越沖地震を受け、「地震と原発」研究会メンバーなどが新潟県庁で記者会見。
 柏崎刈羽原発は廃炉にすべきと訴える。
 2007年 8月21日 「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」発足、事務局に協力。
 2007年10月10日 高木基金助成報告集 Vol.4(2007) 発行 <1,000部>
 2007年10月15日 高木基金だより NO.16 発行 <約2,500通>
 2007年11月 1日 応募受付(国内調査研究枠)開始
 2007年11月26日 助成先松野亮子さん帰国報告会を開催 <主婦連会議室にて、参加者10名>
 2007年12月10日 助成募集(国内調査研究枠)〆切
 2008年 1月29日 選考委員会開催
 2008年 2月16日 第7回助成の公開プレゼンテーション開催 <渋谷区立勤労福祉会館:参加者80名>
 同日の理事会で2008年度助成先を内定
 2008年 3月15日 高木基金だより NO.17 発行 <約2,600通>

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者	受益対象者の範囲及び人数	支出額
(1)市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成	国内の個人・グループへの調査研究助成	2008/2/16 (理事会での内定日)	主に国内	(1)-(4)共通で専従1名	主に国内の個人・グループ	個人 1名 NPO/グループ 17団体	市民科学をめざす個人・グループへの調査研究助成金 7,550,000円
	国内の個人への研修奨励	2007/4/1 ~ 2008/3/31 (随時相談・応募を受け付けている)	主に国内		主に国内の個人	個人 4名	市民科学をめざす個人への研修奨励金 1,300,000円
	アジアの個人・グループへの調査研究助成		主にアジア		アジアの個人	1団体	市民科学をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成金 650,000円
	委託研究費	2007/4/1 ~ 2008/3/31	主に国内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	委託研究費 1,000,000円
	助成の公募・助成選考及び成果発表	2007/4/1 ~ 2008/3/31	国内		国内及びアジア	応募数 65件 (個人・グループ計)他多数	助成関係費 2,167,534円
(2)市民科学の理念及び研究成果の普及	支援者及び一般への研究成果の普及・活動状況等の広報としての「高木基金だより」の発行	NO.15 2007/6/7 NO.16 2007/10/15 NO.17 2008/3/15	国内	高木基金の支援者及び一般	各2,500 ~ 2,600名 (発行部数)	広報活動費 1,203,366円	
	助成先等の報告会及び成果報告会の開催	2007/6/16、7/15、11/26	国内	一般	6/16 60人 7/15 25人 11/26 10人	普及活動費 115,860円	

(2) その他の事業 なし

以上

2007年度（特定非営利活動に係る事業）収支計算書

2007年4月1日から2008年3月31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 （単位：円）	
I 収入の部		
1 会費収入	4,974,000	
2 事業収入	0	
3 補助金等収入	0	
4 寄付金収入	13,614,938	
5 運用収入	217,923	
6 その他収入	67,657	
当期収入合計		18,874,518
支出の部		
1 事業費		
(1) 市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成		
助成金		
国内の個人・グループへの調査研究助成	7,550,000	
国内の個人への研修奨励	1,300,000	
アジアの個人・グループへの調査研究助成	650,000	
委託研究費	1,000,000	
助成金計	10,500,000	
助成関係費		
公募関係費	121,257	
選考会費	773,233	
公開プレゼンテーション関係費	550,939	
成果報告会費	722,105	
助成関係費計	2,167,534	
(2) 市民科学の理念及び研究成果の普及		
広報・普及事業費		
広報活動費	1,203,366	
普及活動費	115,860	
広報・普及事業費計	1,319,226	
事業費合計		13,986,760
2 管理費		
事務局人件費	3,788,343	
法定福利費	29,014	
消耗品費	15,427	
通信運搬費	144,486	
支払家賃	396,275	
印刷費	0	
旅費交通費	1,900	
外部委託費	0	
会議費	5,149	
支払手数料	153,412	
新聞図書費	43,000	
備品購入費	35,115	
租税公課	3,400	
雑費	13,670	
管理費合計		4,629,191
当期支出合計		18,615,951
当期収支差額		258,567

2007年度（特定非営利活動に係る事業）貸借対照表

2008年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額（単位：円）	
I 資産の部			
1	流動資産	現金	16,548
		普通預金 三菱東京UFJ	4,140,735
		三菱東京UFJ（基金口）	15,998,614
		りそな銀行	1,006,640
		郵便振替 00140-6-603393	757,466
		00160-4-758972	26,680
		国債 利付国債（5年）第63回	20,000,000
		仮払金	0
		流動資産合計	41,946,683
2	固定資産	なし	0
		固定資産合計	0
		資産合計	41,946,683
負債の部			
1	流動負債	未払金 第7回助成金 未払分	7,000,000
		委託研究費 未払分	2,500,000
		過年度分未払い助成金	450,000
		カード支払未決済分	38,215
		2/15 公開プレゼン資料コピー代 26,460円	
		3/18 助成先修正計画書コピー代 11,755円	
		預かり金 源泉所得税	21,350
		2008年1月～3月給与支払分	
		雇用保険料本人負担分	19,382
		2007年5月～2008年3月給与支払分	
		流動負債合計	10,028,947
2	固定負債	なし	0
		固定負債合計	0
		負債合計	10,028,947
正味財産の部			
		前期正味財産	31,659,169
		当期正味財産増減額	258,567
		正味財産合計	31,917,736
正味財産及び負債の合計			41,946,683

2007年度（特定非営利活動に係る事業）財産目録

2008年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額（単位：円）	
I 資産の部			
1 流動資産			
資産の部			
現金		16,548	
普通預金	三菱東京UFJ	4,140,735	
	三菱東京UFJ（基金口）	15,998,614	
	りそな銀行	1,006,640	
郵便振替	00140-6-603393	757,466	
	00160-4-758972	26,680	
国債	利付国債（5年）第63回	20,000,000	
仮払金		0	
流動資産合計		41,946,683	
2 固定資産 なし			
資産合計			41,946,683
負債の部			
1 流動負債 未払金			
	第7回助成金 未払分	7,000,000	
	委託研究費 未払分	2,500,000	
	過年度分未払い助成金	450,000	
	カード支払未決済分	38,215	
	2/15 公開プレゼン資料コピー代 26,460円		
	3/18 助成先修正計画書コピー代 11,755円		
預かり金	源泉所得税	21,350	
	2008年1月～3月給与支払分		
	雇用保険料本人負担分	19,382	
	2008年3月給与支払分		
2 固定負債 なし			
負債合計		10,028,947	
正味財産の部			
正味財産			
正味財産及び負債の合計		31,917,736	41,946,683

2007年度（その他の事業）収支計算書

2007年4月1日から2008年3月31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 収入の部		
その他の事業収入	0	
当期収入合計		0
支出の部		
1 事業費		
事業費	0	
事業費合計		0
2 管理費		
管理費合計	0	
管理費合計		0
当期支出合計		0
当期収支差額		0

2007年度（その他の事業）財産目録

2008年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産	0	
資産合計		0
負債の部		
負債	0	
負債合計		0
正味財産の部		
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

2007年度（その他の事業）貸借対照表

2008年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産	0	
資産合計		0
負債の部		
負債	0	
負債合計		0
正味財産の部		
前記繰越正味財産	0	
当期正味財産増減額	0	
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

2008年 月 日

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
代表理事 河合 弘之 殿
代表理事 飯田 哲也 殿

会 計 監 査 報 告 書

当法人の2007年度（2007年4月1日から2008年3月31日）の会計について、
財産目録、貸借対照表、収支計算書等を精査した結果、適正なものである
ことを認めます。

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
監事 蝦名 順子

(署名)_____

高木仁三郎市民科学基金 2007年度決算概況

(年度未確定版：5/25 総会資料)

今年度の収入は、予算を40万円程度割り込みましたが、最終的な収支では若干の黒字を確保できました。
 一方、支援を下された方の人数は、昨年の689名に対し、720名となりました。
 これは、従来、助成先決定後の高木基金だよりを、新年度の4月以降に発行していたものを、3月中旬に発行したことが功を奏しました。(反面、2008年度の会費などを早めに振り込んで頂いた面もあります。)
 また、今回は、「柏崎刈羽・科学者の会」への研究サポートを呼びかけましたので、それに対するレスポンスが確実にきています。
 なお、ここ数年の支援者数は、2003年度から757名 701名 854名 689名と推移しており、大きく前進したとは言えないものの、確実に支援を得ている状況とは言えると思います。

収支計算書

2007/4/1 ~ 2008/3/31

(単位：円)

【収入】				【支出】			
収入	予算	実績	備考	支出	予算	実績	支出構成
会費収入	5,000,000	4,974,000		助成金	10,000,000	9,500,000	56%
寄付収入	12,000,000	11,099,938		委託研究費(核燃・地震)	1,000,000	1,000,000	
核燃研究サポート	0	4,000		助成関係費(選考・成果発表費等)	1,750,000	2,167,534	12%
地震研究サポート	1,000,000	1,059,000		その他事業費(広報・普及活動等)	1,450,000	1,319,226	7%
K K研究サポート	1,000,000	1,452,000		管理費	4,500,000	4,629,191	25%
支援合計	19,000,000	18,588,938		内人件費	3,500,000	3,788,343	20%
運用収入	150,000	217,923					
補助金収入	0	0					
雑収入	50,000	67,657					
収入合計	19,200,000	18,874,518		支出合計	18,700,000	18,615,951	
				当期収支差額	500,000	258,567	

貸借対照表

基準日 2008/3/31

(単位：円)

【資産】				【負債】			
流動資産	期初	実績	備考	流動負債	期初	実績	備考
現金	48,143	16,548		未払助成金	8,700,000	9,950,000	
普通預金/東京三菱	3,345,679	4,140,735		未払金	0	38,215	
普通預金/基金口	36,016,182	15,998,614		源泉税預り金	56,647	40,732	
普通預金/りそな	842,948	1,006,640		負債合計	8,756,647	10,028,947	
郵便振替	140,494	757,466		【正味財産】			
郵便振替 2	22,370	26,680		正味財産	期初	実績	備考
国債	0	20,000,000		前期末正味財産	31,659,169	31,659,169	
仮払金	0	0		当期正味財産増減額		258,567	
未収入金	0	0		正味財産合計	31,659,169	31,917,736	
資産合計	40,415,816	41,946,683		負債・正味財産合計	40,415,816	41,946,683	

支援者数

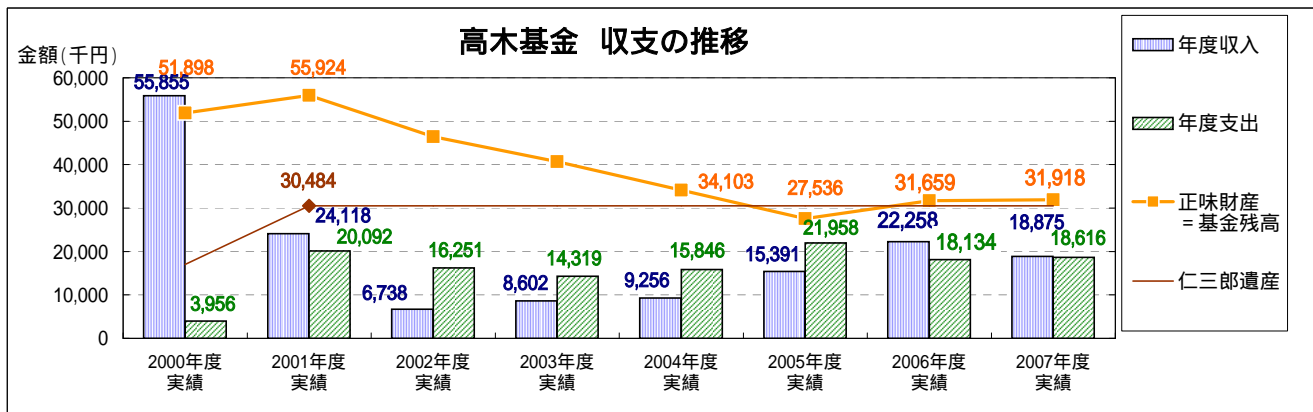
基準日 2008/3/31

支援者数(人)	昨年度	今年度	目標
会員	569人	600人	620人
寄付者	120人	120人	140人
支援者数合計	689人	720人	760人

設立時からの累計

(単位：円)

収入	161,091,366	
内 会費・寄付・市民研究サポート	129,349,290	
内 高木仁三郎遺産	30,483,833	
内 受取利息・雑収入など	1,258,243	
支出	129,173,630	支出構成
内 助成金・委託研究費	75,572,320	59%
内 助成関係費・広報・普及活動費	24,140,432	19%
内 管理費	29,460,878	23%
基金残高	31,917,736	



高木仁三郎市民科学基金 2007年度 助成金・委託研究費明細（兼 未払助成金明細）

金額単位：円

受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	助成金額	2007年度末 未払助成金
【国内の個人・グループへの調査研究助成】				小計	7,550,000
71002	遺伝子組み換えナタネの拡散を防ぐための名古屋、四日市港周辺の調査研究と活動	伊澤 真一	遺伝子組み換え食品を考える中部の会	200,000	0
71006	簡易分析法によるプラスチック廃棄物処理による大気汚染の研究	森上 展安	VOC総合研究部会	200,000	200,000
71012	水俣市における廃棄物最終処分場建設計画の環境影響に関する調査研究	遠藤 邦夫	水俣病センター相思社	500,000	250,000
71017	「長野県廃棄物問題白書」の編集と出版	関口 鉄夫	「長野県廃棄物問題白書」刊行委員会	200,000	200,000
71019	多目的ダムから治水専用(穴あき)ダムへの用途・形状変更等に関する調査研究	遠藤 保男	穴あきダム特別調査チーム	700,000	700,000
71020	彩の国資源循環工場による環境汚染調査	加藤 晶子	彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば	400,000	200,000
71022	ゴミ山(産業廃棄物の不法投棄)土壌の有害重金属含有濃度調査	前田 俊宣	埼玉西部・土と水と空気を守る会	300,000	300,000
71024	市民による沖縄のジュゴン保護のための野外調査、文化調査とそれに基づく保護ロードマップの提案	鈴木 雅子さん	北限のジュゴンを見守る会	500,000	500,000
71025	日の出町ゴミ焼却灰のエコセメント化工場の環境影響調査	濱田 光一	たまあじさいの会	500,000	500,000
71026	上関原発予定地長島の生態系の解明と詳細調査によるダメージの検証及び地域再生に向けた実験的試行	高島 美登里	長島の自然を守る会	900,000	900,000
71029	輛(とも)港埋立て架橋阻止に要する「亀の甲(亀甲状石積み)」の調査	松居 秀子	輛まちづくり工房	200,000	0
71033	日本の対インドネシア・エネルギー開発援助・投資	佐伯 奈津子	インドネシア民主化支援ネットワーク	200,000	200,000
71040	アジアに向かう電子ごみ 有害廃棄物の貿易の実態調査と監視ネットワークの構築	内田 聖子	アジア太平洋資料センター(PARC)	300,000	300,000
71041	地震動を考慮に入れた原発老朽化の検討	湯浅 欽史	原発老朽化問題研究会	700,000	700,000
71044	別当川の自治と治水の批判的検証	石井 亨	香川ボランティア・NPOネットワーク	250,000	250,000
71046	ダム計画をめぐる生活史 熊本県川辺川流域での聞き書き	森 明香		200,000	0
71048	六ヶ所再処理工場からの放射能放出に関する調査研究	古川 路明	六ヶ所再処理工場放射能測定プロジェクト	1,100,000	1,100,000
71052	大村市西部町江川流域の水質調査および江川河口海域の生態系の把握	野田 智子	三浦の自然と大村湾の環境を守る会	200,000	200,000
【国内の個人への研修奨励】				小計	1,300,000
72001	ヨーロッパの持続可能な発展戦略における戦略的環境アセスメントの調査	小野田 真二		400,000	0
72005	原爆被害の継承と実践	根本 雅也		500,000	100,000
71018	国際協力の現場におけるリーダーシップトレーニングの設計とその効果 - 東ティモールにおけるケーススタディ	徳 恵利子		300,000	300,000
71059	大阪・泉南地域の石綿被害実態と石綿公害問題の検証	澤田 慎一郎		100,000	100,000
【アジアの個人・グループへの調査研究助成】				小計	650,000
53003	The Saemangeum Shorebird Monitoring Program, South Korea:	Nial Moores	Birds Korea 【韓国】	650,000	0

【過年度分未払い助成金】

41022	エコツーリズムが自然環境に及ぼす影響についての研究	奥田 夏樹		2005年度支出	200,000
61012	メコン河支流におけるベトナムのダム開発と国境を越えたカンボジアへの環境社会影響に関する調査研究	後藤 歩	NPO法人メコン・ウォッチ	2006年度支出	250,000

助成金合計				9,500,000	7,450,000
--------------	--	--	--	------------------	------------------

【委託研究費】				1,000,000	2,500,000
[2005年度からの継続] 「核燃料サイクル政策」への市民科学アプローチ		飯田 哲也	「核燃料サイクル政策」研究タスクチーム	2005年度支出	1,000,000
[2006年度からの継続] 「地震と原発」研究		山口 幸夫	原子力資料情報室	2006年度支出	500,000
柏崎刈羽原発の再稼働をめざす東京電力および政府の動きに対する批判的検証		井野 博満	「柏崎刈羽・科学者の会」	1,000,000	1,000,000

委託研究費合計				1,000,000	2,500,000
----------------	--	--	--	------------------	------------------

1 . 2007 年度事業報告および決算報告について

(1) 第 7 回助成

- ・第 7 回の助成募集・選考を行い、国内枠 22 件 885 万円、アジア枠 1 件 65 万円、合計 23 件 950 万円の助成を決定した。(助成先明細は p.8 をご参照)

募集	国内向け調査研究助成 …… 2007 年 11 月 1 日～12 月 10 日 国内向け研修奨励・アジア向け調査研究助成・研修奨励 …… 2007 年 4 月より随時		
応募	国内から	65 件	応募総額 6,320 万円
	内 調査研究	59 件	5,779 万円
	研修奨励	5 件	444 万円
	アジアから	1 件	97 万円
選考	2008 年 1 月 29 日、選考委員会にて書類選考を実施。 2 月 6 日、8 日に国内研修奨励枠の書類選考通過者に理事による面接を実施。 2 月 16 日に、渋谷区立勤労福祉会館にて国内調査研究助成枠に関する公開プレゼンテーションを開催。その後の理事会で助成先を内定。		
助成 決定		第 7 回助成	累 計
	国内向け調査研究助成	18 件 755 万円	84 件 4,990 万円
	国内向け研修奨励	4 件 130 万円	15 件 810 万円
	アジア向け調査研究助成	1 件 65 万円	11 件 655 万円
	アジア向け研修奨励	なし	2 件 115 万円
	合計	23 件 950 万円	112 件 6,570 万円

- ・2007 年度より助成選考委員の一般公募を行った。募集人数は 1 名の予定だったが、4 名の応募があり、理事会で選考の結果、2 名に選考委員を委嘱することとした。
- ・なお、アジア枠については、この他にも問い合わせがありましたが、事務局として十分な対応が出来ず、次年度に持ち越している案件があります。

(2) 委託研究

- ・2006 年度から取り組んできた「地震と原発」研究については、7 月 15 日に港区立勤労福祉会館（東京都港区）にて中間報告会を実施した。（参加者 25 名）
- ・7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震によって、柏崎刈羽原発が被災したことを受け、「地震と原発」研究会および、「原発老朽化問題研究会」（高木基金助成先）の中心メンバーである、石橋克彦、井野博満、田中三彦、山口幸夫の 4 氏が、8 月 7 日に新潟県庁で記者会見し、柏崎刈羽原発の閉鎖を訴えた。
- ・8 月 21 日には、この 4 氏が「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」（略称「柏崎刈羽・科学者の会」）を立ちあげた。これまでの経緯もあることから高木基金としては、この会の事務局として協力してきた。
- ・この会の活動への支援として、高木基金に 100 万円の寄付があり、2008 年度は、同額の委託研究として「柏崎刈羽・科学者の会」の活動を支援することとした。
- ・「地震と原発」研究については、委託先である原子力資料情報室において研究を継続しており、原子力資料情報室通信などで、その成果を随時発表してきたが、近々、これらを

まとめた報告書が出版される予定。

- ・2005年度から取り組んできた、「核燃料サイクル政策への市民科学アプローチ」については、昨年度、六ヶ所再処理工場からの放射能放出測定プロジェクトと連携することとしたが、2007年度は、主に内部的な研究活動を継続するにとどまった。

(3) 第5回助成の成果発表会の開催・助成報告集 vol.4(2007)の発行

- ・第5回助成先の助成期間が2007年3月で終了し、調査研究・研修成果のとりまとめを行った。
- ・6月16日(土)、文京シビックセンター、スカイホール(東京都文京区)にて成果発表会を開催し、第5回助成先の内、12件の報告と質疑応答を行った。(参加者60名)
- ・調査研究・研修の完了報告書・会計報告書は、成果発表会の当日資料として配付するとともに、概要をホームページに掲載した。
- ・助成先の成果報告をまとめた「高木基金助成報告集 vol.4(2007)」を10月に発行し、会員等に送付するとともに、ホームページやメールニュースなどを通じて普及に努めた。

(4) 助成先を囲む交流企画の実施および助成先の活動支援

- ・11月26日(月)、主婦連合会会議室(東京都千代田区)にて、イギリス留学から帰国された松野亮子さんの帰国報告会を開催した。(参加者10名)
- ・この様なかたちで助成先を囲み、高木基金の理事・選考委員、支援者等が交流を深め、研究の成果を共有する場を設けることは、これまでも重視してきたが、2007年度取り組みは、松野さんの報告会のみとなった。今後は、さらにこの様な場を意識的に設けていきたい。

(5) 会員・組織基盤拡大の取り組み

- ・2007年度の会員・支援者数の状況は下記の通り。2006年度に比べると、会員数は、若干の増加となったが、過去数年の中では横ばいの状況にあり、今後も会員、支援者の拡大に努めていく必要がある。

	04年度	05年度	06年度	2007年度	前年比	備考
正会員	10人	15人	18人	18人	±0人	
維持会員	266人	264人	258人	268人	+10人	
賛助会員	338人	333人	305人	314人	+9人	
会員計	610人	608人	580人	600人	+20人 (+3.4%)	*1
寄付者	90人	246人	120人	120人	±0人	
市民研究サポート	-	364人	114人	78人	▲36人	*2
支援者総数	700人	854人	689人	720人	+31人 (+4.5%)	
支援者の内訳						*3
新規	79人	64人	33人	47人	+14人	
継続	489人	557人	578人	517人	▲61人	
復活	133人	233人	77人	156人	+79人	

*1 一部重複があるため合計が一致しない *2 会員・寄付者との重複を含む *3 継続は、前年度も支援のあった方、復活は過去に支援の実績があり、前年度はなかった方。

- ・ニュースレター「高木基金だより」等の発行(約 2,500 通)については、従来、年 3 回と
していたが、2007 年度は一回追加し、3 月中旬に、助成決定先の紹介等を掲載して発行
した。その際、「柏崎刈羽・科学者の会」のリーフレットを同封し、委託研究への寄付を
呼びかけたが、これが、年度末の収入増加に寄与した。
- ・なお、2006 年度から会費の口座引き落としを導入し、2007 年度も利用を呼びかけたが、
今年度の増加は 17 件のみで、現在の利用者は、118 名(会員の 19.7%)にとどまってい
る。引き続き口座引き落としの利用を呼びかけていきたい。

(6) 2007 年度決算について

- ・収入、支出とも、ほぼ予算に沿ったかたちで、全体の収支は 25 万円の黒字となった。
詳細は、2007 年度決算概況 (p.7)をご覧ください。
- ・2006 年に認定 N P O の承認を得てから、ある程度、大口のご寄付が見込める流れになっ
てきた模様。一方、一般のみなさまからの会費・寄付が着実に寄せられたことで、今年
度も高木基金の活動財源が確保されたかたちであり、あらためてみなさまのご支援に
心からお礼を申し上げます。
- ・支出では、助成関係費と管理費の人件費が予算を上回った。助成関係費は、応募者、書
類選考通過者の増加等により、面接や公開プレゼンテーションなどの交通費が予想を上
回ったこと、選考委員の増加により謝礼、交通費が増加したことが要因。
人件費は、事務局が「柏崎刈羽・科学者の会」の事務局を引き受けたこと等により、勤
務時間が予想を上回ったことが主な要因。

2005-07 年度の会費・寄付の内訳 (市民研究サポートを含む)

	2005 年度	2006 年度	2007 年度	前年比
支援合計	14,836 千円	22,107 千円	18,589 千円	3,518 千円
内 一般の会費・寄付	8,186 千円	6,607 千円	7,589 千円	+982 千円
[1 人あたり]	[9,585 円]	[9,589 円]	[10,540 円]	[+951 円]
内 大口の寄付	6,650 千円	15,500 千円	11,000 千円	4,500 千円

ここでは、1 件で 50 万円以上の寄付を大口の寄付、それ以外を一般の会費・寄付として集計している。

2 . 2008 年度事業計画及び収支予算について

(1) 第 8 回助成 / 助成の枠組みの変更とアジア枠の強化

- ・今年度は、従来からの助成の枠組みを一部変更し、新たに「実践活動助成」(仮称：過去に 2 回以上の助成を受けた実績がある団体を対象とし、調査研究にもとづく継続的・実践的な活動への助成)を実施する方向で具体的な検討を行いたい。また、自然エネルギー利用や省エネルギーの研究および普及に関する助成についても今後取り組むこととしたい。これらについては、別の議案(p.14)をご覧ください。

助 成 分 類	2008 年度予算	備 考
国内枠 調査研究助成 (仮に「実践活動助成」とする)	250 万円	過去に 2 回以上の助成を受けた団体等が対象
国内枠 調査研究助成 (仮に「一般助成」とする)	500 万円	従来の調査研究助成とほぼ同様
国内枠 研修奨励	150 万円	従来同様
アジア枠 調査研究助成・研修奨励	200 万円	従来同様
小 計	1,100 万円	前年比 + 100 万円
国内 自然エネルギー利用及び 省エネルギーの研究及び 普及に関する助成	400 万円	助成の原資となる寄付を 獲得した上で具体化を すすめる
合 計	1,500 万円	

- ・また、アジア枠については、これまで応募の問い合わせに対しても、十分な対応が出来ていなかったのが実態であった。今年度は、事務局の体制としても、アジア枠のプログラムオフィサーを担える人材を新たに確保した上で積極的に取り組みたい。また、あわせて、海外の財団などからの補助金獲得を目指したい。
- ・なお、2008 年度も、昨年に引き続き選考委員の一般公募を行いたい。

(2) 成果発表会の開催・「高木基金助成報告集」の発行

- ・例年同様、第 6 回助成の成果発表会の開催、助成報告集発行に取り組みたい。

(3) 助成先の交流の促進、研究者ネットワークの構築

- ・助成先と高木基金の理事・選考委員、支援者等の交流を促進する。
さらに、様々な問題の現場で、調査研究に取り組む地域住民などから相談を受けた際に、関係する分野の専門家を紹介できるように、協力して下さる専門家のリストアップやネットワーク化に取り組みたい。

(4) 委託研究

- ・継続中の「柏崎刈羽・科学者の会」については、市民研究サポートが着実に寄せられており、これにあわせて、委託研究金額の増額する方向で引き続き支援していきたい。(予算では、市民研究サポート 100 万円、委託研究費 100 万円を計上。)
- ・同じく「地震と原発」研究、核燃料サイクル政策研究については、一部委託研究費の未払い分もあり、それぞれの研究の進展にあわせて、引き続きフォローしていきたい。

(5) 会員・組織基盤の拡大とそのための広報の強化

- ・従来からの会員・支援者への継続支援および、口座振替の利用呼びかけ、新規支援者の開拓については、従来同様、地道な働きかけを続けていく。
- ・特に、委託研究への市民研究サポートや、新たな枠組みとして位置づける自然エネルギー・省エネルギーに関する助成などを契機に、新たな支援者層の開拓にも務めていきたい。

(6) 2008 年度予算

- ・今年度の予算は、下表の通りとし、助成の枠組みを変更し、全体の助成金額を拡大した上で、単年度収支均衡をめざしたい。

(単位:千円)

		2006 年度 実績	2007 年度 実績	2008 年度 予算	前年実績 対比	備考
収 入	会費収入	4,527	4,974	5,800	+826	
	寄付収入	16,618	11,100	12,600	+1,500	
	市民研究サポート	962	2,515	1,000	▲1,515	*1
	支援小計	22,107	18,589	19,400	+811	
	内 一般の会費・寄付	6,606	7,589	7,900	+311	
	内 大口寄付	15,500	11,000	11,500	+500	
	自然エネルギー等への寄付			5,000	+5,000	*2
	補助金など			500	+500	*3
	利息・雑収入など	151	286	300	+14	
	収入合計	22,257	18,875	25,200	+6,325	
支 出	助成金	9,000	9,500	11,000	+1,500	
	委託研究費	2,000	1,000	1,000	0	*1
	助成関係費	1,659	2,168	2,100	▲68	
	自然エネルギー等への寄付			4,000	+4,000	*2
	助成関係費(自然エネルギー等)			500	+500	
	広報・普及事業費	1,172	1,319	1,300	▲19	
	管理費	4,302	4,629	5,150	+521	
		支出合計	18,134	18,616	25,050	+6,434
	収支差額	4,123	259	150	▲109	
	年度末正味財産(基金残高)	31,659	31,918	32,068	+150	

*1 市民研究サポートの状況に合わせて、委託研究費の増額を検討する *2 自然エネルギー等への寄付の状況に合わせて、自然エネルギー等への助成金額を検討する。 *3 アジア枠について、海外の財団などからの補助金獲得を目指す。